

米國の婦人と子ども

巖谷季雄氏談

▲豫想外に優しい 豫ねてアメリカと云ふ國は男も敵はぬまで女權の擴張した處と聞きもし又色の想像も下して居りました、處が往つて見れば思ひの外で、別段アメリカの婦人だからと云つても怖いことはいと云ふことを知つたのみか、なか／＼交際上手で、我々に向つても優しくして下さる婦人らしい婦人であることに感心しました一行(實業團)の中にはホテルに着いても、エレベートルの内に婦人が居れば一々脱帽しなければならぬと云ふは馬鹿／＼しいと云ふ人もありましたが、併しそれとても婦人の爲めに取るのではなく實際エレベートルの内では帽子を脱て居た方が心地が好い、都合が好いから脱ると思へば何のこともないのではありません、又米國では電車の内では席を譲らない男子があると催促をされると聞いて居つたが、實際は爾でもありません、昔は知ず今はア

アメリカの婦人でも電車の内に立つて居るものがいくらもある、婦人の立つて居る前で立派の紳士が平氣で新聞を讀んで居ます、して見ると日本でアメリカを想像して居る點は餘程考へ過しをして居るやうに思はれます

▲威張る婦人 尤も永い間には随分威張つた婦人にも出遇ひました、併し左う云ふ婦人は彼地でも敬尊されて居ないので、何故ならばそれは受付の女書記、電話係若くはホテルの掃除婦などで、是れは寧ろ威張る方が間違つて居るので、米國婦人の標準とはなりません

▲ハイスchoolの設備 機會さへあれば學校を見ることが心掛けて居りましたので随分諸所の女學校を參觀しました、婦人のハイスchoolの設備の完全して居ることは今更申上ぐるまでもないが職員方がいかにも物馴れて參觀人をして快感を抱かしむる態度には今更ならが感心しました其折に例へば大きな女子大學と云ふやうな所では實驗室に只一人コック、勉強をして居る婦人やライブラリで六ヶ敷本を熱心に研究して居る女學生を見て

も別に珍らしくは思ひませんでしたが、意外に思つたのは、縁の下(彼地では巧みに床下が利用されて居る)の割烹室とか洗濯室とか裁縫室とか云ふ處に往つて見ると職員が特に參觀の我々に向つてこれもあるもと物珍らしさうに自慢をして見せる事です、妙だと思つて見ましたら、昨今は其方面に入學を申込む婦人が多く却て中流以下の婦人は學問を以てパンの口を探し或は學問はしないまでもタイプライター其他に職を求めますけれども世帯の苦勞のない婦人はそれ以上の方面に興味を以て進むのが昨今の流行であると云ふことを二三ヶ所で聞きました、これは必要から起つたことと他國のことながら誠に結構だと思つて見て來ました

▲少年裁判所 シカゴには子供の裁判所と云ふものがある、何う云ふことをするのかと云ふに悪少年を扱ふと同時に子供を虐待する親共を裁判します、で裁判所の附屬として親が養育することの出來ない悪少年を收容する感化院、又親があつてもその義務を盡されないと云ふ憐れな子女を收容す

る養育院のやうなもの迄皆一つ建物の内に整ふて居ります、丁度私の參つたときに、面白い裁判があるから見に往つたら何うかと言はれて所謂その法廷を傍聴しましたが場所は此會場位の室で上席の方に裁判官、左右に書記が居りますが検事も辯護士も見えませんが被告は直ぐに裁判官の面前に立つて居るので其裁判は如何う云ふ事件かといふに一人の貧乏人のお内儀さんが大酒飲みで家には十歳と七歳の男の兒のあるにも拘らず夫が稼いで來ると直に飲んで了つて二人の子供には少しも管はないそれを見兼ねて子供を預り母親には相當の制裁を加へやうと云ふ裁判でした見ると内儀さんは年頃四十四五無論穢い着物を着てよく西洋の繪に洗濯婆さんのして居る肩掛のやうな布を頬被りといつた風に咽喉の邊でダラリと結び顔は多分アルコール中毒なものでせう、男か女か分らぬ人相、鼻の先は赤く、前歯は一ツ二ツ脱落し、一字に結んだ大きな口は丁度お伽刺しに出る魔物の女とでも言ひたい有様其上に口を利いても呂律が廻はらない、處が其傍に居る無邪氣な二人の兒は

親に似ぬ可愛らしい様子、其傍には胡麻鹽頭の亭主、如何にも意氣地のなさうな態度で水洩をハンカチーフで拭きながら裁判官の訊問に會ひ、ヒョコ／＼と恐入つて居ります

▲女巡查 又この夫婦と子供との間に二十五六の氣高い様子の、服装は質素ですが一寸趣きのある装ひをした婦人が流暢な辯で辯じて居る、可愛らしい子供が二人、魔物のやうな内儀さん、意氣地のない亭主、そこに頗る権のある美人が立つて、美人一言、魔物一言、互に何か争つて居る、段々聞いて見ますと若い綺麗な氣高い婦人は原告、即ち巡查である女の巡查、私は頗る耳新しい感じがしましたから刑事巡查かと尋ねたところが先づ爾うだと云ふ、で、この婦人は何う云ふことをするのかと申すに常に貧民窟に立ち入つて親が子に對し、何う云ふ扱ひをするか子供の教育状態は何うかと云ふことを視察し注意も與へ異見もする、それでも効がなければ此裁判所の判決に託して此處に收容すると云ふ職を勤めるものだと云ふ事です、無論制服を着けて居る譯ではないから一寸見

ては判りませぬ殊に私は寡聞にして從來アメリカに爾う云ふ職務を持つ婦人のあることを知らなかつたものですから婦人が警察権にまで關係はつて働いて居る事を深く感心し同時に誠に結構なことだと思ひました、日本では斯う云ふ事件は、新聞紙の記事、或は世上の噂さが高くなつてから始めて警察の耳に入り、手段は其後に講せらるゝのであります、流石に米國の社會的事業の發達して居るのに感服しました話が枝葉に涉りましたが其裁判は女巡查が此二兒の親の状を見て幾度も注意したのが其時だけハイ／＼と言つて少しも聞き入れない斯様な親には此兒を育てさせて置かれぬから此所に收容しやうと云ふ酒飲みの内儀さんは我子であるから私が育てると云つて承知しない兒は流石に親子の情で父母の方に附いて家に歸らうと云ふ女巡查は還されぬと云ふ争ひであつたのです、結局は見ないで歸りました

▲船上の幼稚園 紐育に參つて大に羨しく感じたことはホドソンの河畔、日本で申すと築地の様な處に立派な市立病院が今や出來上らうとして居

ります、其病院の裏手の河岸に汚い船が一艘繋いでありましたが、此處に我々共は引張り込まれました、何の見るべきものがあるのかと思つて居ると何ぞ圖らん此船こそ一種の美しい樂園でありました、一體此船は渡船の右手です、勿論日本の渡船とは違つて彼方のは餘程大きい、其上部が學校と幼稚園となつて居て、時は午後三時過ぎ、可愛らしい男の子や女の子が大勢並んで牛乳とカステラか何かを食べて居たのです、で、此は何ですかと尋ねますと病身の子供を預つて置く所、一つの小兒保養所とでも云ふべき處であるとの事でした、近頃細育には結核性の病氣が非常に流行して居てこれは個人の不幸のみならず社會の迷惑になると云ふのだ、爾う云ふ種類の病身の子供を此處に預る、しかし、只預るのでは子供の體育はそれで補つて行かれるにしても大切の學齡時期を仇に過して其勉強を遅れさせると云ふので午前午後とも二時間宛勉強をさせ、普通の兒童に比して僅かに一二年遅れるのみで不完全なる體育を成るべく充分に發達させる事にしてあります、甲板は幼

稚園の運動場、又陸上には廣い花壇もあつて空氣も宜しう御座ますから子供は皆血色うるはしくこれが病身かと思ふほどであります、斯くてこそ子供の仕事、社會の仕事、近所迷惑の恐れもなく非常に好いと私は深く羨しく感じました、残念なのは此船上の幼稚園は一種の慈善事業であるかそれとも相當の謝儀を取つて居るのかその邊を聞き漏して參つた事です

▲日本少年の出迎 それから西の方サンデヤゴに參りますとラジャヨカー譯して神智協會と云ふのがあります一學校でも宗教でもないが、世界同胞主義を標榜して立つて居るので會長はミセスデングリットと云ふなかく傑い婦人、一寸見るとクインビクトリヤの様な風采の方ですが此會の創立に係る學校で又面白いものを澤山示されました、此サンデヤゴは太平洋に面した土地で、浦賀とか三崎とか云ふやうな、温い景色の佳い處、其處に宏莊な恰も繪のやうな建物がある程、設備のやら花壇やらが廣々として實に羨しい程、設備の届いた學校ですが私共一行が往くと七ツ八ツの可

愛らしい女の子が大勢頭には青い羽で造つた冠のやうなものを被り、生花で造つた徽章には日章旗を差して迎へて呉る

▲テツヲ君 聞く所によると此子は元横須賀の軍人の子でステブンソンと云ふ西洋人の養子に貰はれたのをデングー女史が更に教育を託されて居るのださうです、私は此話を聞き世界同胞主義で小學時代から大學までの教育を享けやうとしつゝある此子は今に如何なる人物に成るかと思つて居る事を頗る楽しく思つて居ます、デングリー女史の歓迎演説はいかにも流暢なもので丁度女優が舞臺で長い白を云つて居るのを聞く様な心地がしました、兎に角此處では殆ど感心するものばかり種々の物を見聞き同時に一々感心しましたが茲に一ツ感心の出来ないことがありました、それは幼い三四歳の日本で申せば幼稚園時代の子供が日本の小學二年生位の暗記暗誦問答をすらすらとやつて居た事であり、僅かに三ツ四ツの小兒が世界の地圖を指せば印度、亞弗利加、亞細亞など、少しも間違はず日本の首都はと云へば東京と答へ其

他英吉利、佛蘭西何處の首都でも明に答へる、只滑稽であつたのは亞米利加の首都はと聞かれて華盛頓と答へたものが辛うじて一人あつた事でしたその辨世界各國の旗も知つて居る、私共の知らない殖民地の旗まで知つて居る、大陽の七色、これに就て急拵への御馳走でありませうが、それにしても驚ではありませぬか、何もこれだけは考へるで斯様に幼少の時から詰込んだ處が果して其割合に人間が豪くなるか何か、併し日本の昨今の教育は少しく平易になり過て居る一般知識の低い子供を標準として教科書も作られて居る、それ故に都會の子供と田舎の子供と比べて都會の子供は學校程やさしいものはないと云ふやうに思つて居るといつて又僅か三四歳の小兒を捕へてそれほどに六ヶ敷いことを教へる必要があるか何うか、此學校は創業後まだ年が浅くて卒業生の成績を他と比較する事は出来ませんでしたが兎に角勉強さへすれば何でも出来ると云ふ仕込方ですから私共は之を見て唯だ驚いて了つたのであります